



秋田駒ヶ岳より望む岩手山からの日の出と雲海

秋田更生保護

第 61 号

発行所

秋田市山王7-1-2

更生保護法人
秋田県更生保護援助協会
(編集)
秋田更生保護編集委員会
(題字)
小 熊 良 悦
(印刷)
(株)アクティス

平成27年1月1日現在
保護司数 652名

目 次

巻頭言.....	1	秋田県BBS連盟.....	5
第47回秋田県更生保護大会	2～3	秋田保護観察所.....	5
更生保護関係団体の動き		一筆啓上.....	6
秋田県更生保護援助協会.....	4	サポートセンターだより.....	7
秋田県保護司会連合会.....	4	栄誉に輝く叙勲・褒章.....	8
秋田至仁会.....	4	保護司の異動.....	8
秋田県就労支援事業者機構.....	5	謹賀新年.....	8
秋田県更生保護女性連盟.....	5	編集後記.....	8

明けましておめでとうございます。
秋田県内の更生保護に携わる皆様におかれましては、保護観察処分により当所を退所となった少年や少年院を仮退院した少年たちの改善更生のため日々ご尽力されていることにつき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。
さて、当初の入所少年数は年々減少する傾向にあり、在所している少年が数名程度という状態が続いています。その一方で、個々の少年の特性を見ますと、発達障害傾向を有して周囲の者とのコミュニケーションを取りづらい少年や、共感性が非常に乏しい少年など、処遇の困難な少年が増加しています。
そうした状況の中、昨年六月、少年院法及び少年鑑別所法(以下「新法」という。)が成立し、一年以内に施行される見込みとなっています。少年鑑別所法の柱の一つは、非行を犯した少年が再び失敗を繰り返さないようにするための再犯防止です。当所においても、少年ができる限り明るく静かな環境の中で規則正しい生活を送ることができるようになるとともに、心理学等の専門的知識を生かして面接や心理テストを実施し、非行の原因を解明して処遇方針を立てることにより、再犯防止に貢献するよう努めています。

また、新法には、地域社会における「非行及び犯罪の防止に関する援助」が第一三一条に規定されました。秋田県のように非行・犯罪発生件数が少ない地域においても、非行・犯罪やその前段階としての不適応行動(ひきこもり、不登校、いじめ等)に悩まれている住民の方は少なくないように感じます。少年鑑別所としては、収容少年のみを業務の対象とするのではなく、一般の方を対象とした心理相談活動を行ったり、保護観察対象者に心理テストを実施するなどして、地域の非行・犯罪予防に寄与したいと考えておりますので、今後とも当所に対する御意見、御要望をいただければ幸いです。



少年鑑別所法の施行に向けて

秋田少年鑑別所 所長 谷 口 五 郎

秋 田 県 更 生 保 護 大 会

平成26年11月19日

去る平成二十六年十一月十九日（水）、秋田市文化会館大ホールにおいて、東北地方更生保護委員会委員長他多数の来賓の御臨席の下、保護司をはじめとする県下更生保護関係者約八百五十人の参加を得て、更生保護制度施行六十五周年記念第四十七回秋田県更生保護大会が厳粛かつ盛大に開催されました。

高橋淑江秋田県更生保護女性連盟副会長の開会のことばに始まり、次に、社会を明るくする運動作文コンテストの優秀賞の小坂朝陽さん（北秋田市立鷹巣東小六年）、船山友寛さん（湯沢市立湯沢南中三年）が作文を朗読し、続いて優秀賞受賞者六名の表彰が行われました。

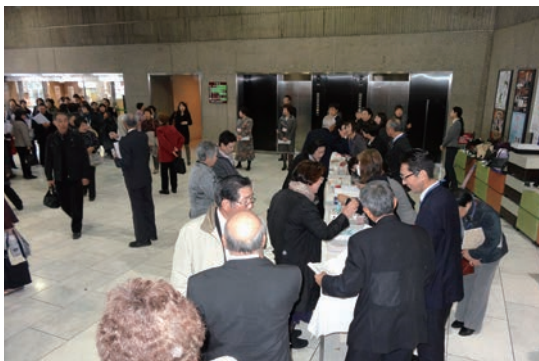
次に、秋田緑ヶ丘病院統括顧問・秋田県医師会副会長の坂本哲也氏に「認知症を正しく理解して健や



会場正面

かライフ」と題しまして御講演いただきました。

その後、顕彰式典に移り、県下の更生保護事業に御功績のあった方々の顕彰を行うとともに、今後ますますの更生保護の発展を祈念し、大会は盛会裏に終了しました。



受付開始

顕 彰

○叙勲・褒章（更生保護功労・功績）
・瑞宝双光章 二名
・藍綬褒章 二名

表 彰

○法務大臣表彰 十八名
○法務大臣表彰（更生保護法人役職員） 一名



開会を待つばかり

○保護司 百四十七名
○内助功労者 三十二名
○更生保護女性会員 百四十名
○BBS会員 七名
○秋田県知事感謝状 二十名
○民間協力者 三名
○社会を明るくする運動作文コンテスト優秀賞受賞者 六名
以上の方々にそれぞれ表彰状、感謝状等が授与、贈呈されました。

これに対して、受彰者を代表して、能代地区の工藤鶴藏保護司から謝辞がありました。



第六十四回「社会を明るくする運動」

★作文コンテスト入賞者

＊〔全国版〕日本更生保護女性連盟会長賞

北秋田市立鷹巣東小学校六年

小坂 朝陽

「優しさのバトンタッチ」

＊秋田県推進委員会 優秀賞

▽小学生の部

北秋田市立鷹巣東小学校六年

小坂 朝陽

「優しさのバトンタッチ」

湯上市立飯田川小学校五年

淡路 柚希

「心の輪」

由利本荘市立岩城小学校六年

新妻 未梨

「地域が人を守る」

▽中学生の部

湯沢市立湯沢南中学校三年

船山 友寛

「二本のライン」

秋田市立岩見三内中学校二年

松田ひなの

「お互いが理解しあえる社会とは」

能代市立能代第一中学校一年

藤田 美空

「私にできること」



更生保護制度施行 65 周年記念 第 47 回



受彰者を代表して謝辞



法務大臣表彰の方々



佐竹知事の祝辞

第48回秋田県更生保護大会

平成27年 **11月19日(木)**

秋田市文化会館(大ホール)にて
開催されます

第29回東北地方更生保護大会

平成27年 **10月29日(木)**

山形県天童市市民文化会館にて
開催されます

東北地方更生保護委員会委員長
西村穰氏を始めとする四名の方から御祝辞をいただきました。
続いて、大会宣言文を秋田県B
BS連盟菅原^{ひろし}大会長が読み上げ、
満場一致で採択され、最後に加藤
忠輔秋田県保護司会連合会副会長
の閉会の言葉により、全日程を終
了しました。
なお、本大会の準備・運営には、
秋田地区保護司会・秋田地区更生
保護女性会の御協力がありました
ことを付け加えておきます。

(文責 新野)



スタッフ打ち合わせ



社作文コンテスト表彰式の模様



坂本哲也氏の講演

更生保護関係団体の動き

秋田県更生保護援助協会

十月十四日、秋田少年鑑別所において当協会の研修会が開催され、理事・監事の方々の出席をいただきました。谷口五郎少年鑑別所長に御講話いただき、鑑別所内の状況や新施策等についてお話を伺い、有意義な研修会となりました。

また、一月二十日には、秋田ビューホテルにおいて、ブラウブリッツ秋田社長岩瀬浩介氏を招き、「スポーツを通じた人間教育」と題した講演を伺うなど研修会を開催し、理事相互の親睦も深めました。



岩瀬社長の講話

※当協会運営に対しまして御寄附を戴きました皆様、また、普通会员・賛助会員の方々に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

篤志者寄附金の御芳名

平成二十六年七月以降に御寄附を寄せられた方は、次のとおりとなっております。厚く御礼申し上げます。

一金 十万円

(株)ユーアイビルサービス 様

ユーアイ警備保障(株) 様

(株)東交ビル管理 様

一金 五万円

ユーアイトータルプランニング(株) 様

(株)友愛社 様 三交ビル(株) 様

オークス(株) 様 鎌田 豊 様

菅原 慶悦 様 菅原 金雄 様

秋田県保護司会連合会

★第二回理事会

○平成二十六年九月九日

○秋田保護観察所

○主な協議事項は、更生保護制度施行六十五周年記念第四十七回秋田

県更生保護大会開催について

★更生保護制度施行六十五周年記念第四十七回秋田県更生保護大会

○平成二十六年十一月十九日

○秋田市文化会館大ホール

○内容は別掲

★地区保護司会長等連絡協議会

○平成二十六年十一月二十七日

○秋田温泉さとし

○出席者は、地区会長・地区事務局・

県保連理事等

○主な協議事項は、社明モデル地区・ブロック別更生保護研究会結果報告、地域推進事業「映画と講演の集い」結果報告等

★東北管内保護司会長・事務局長会議

○平成二十六年十二月十一日

○青森市浅虫温泉

○出席者は、県保連二名

○主な協議事項は、保護司組織を充実させるための方策について及び各県の活動状況について等活発な意見交換を行った。

更生保護法人全国保護司連盟理事就任
(平成二十七年一月一日)

柳沢 和子

(秋田地区保護司会中央地区会会長)



12月25日開催 保護司退任座談会

秋田至仁会

「秋田至仁会の現況等について」

施設長 秩父 孝郎

更生保護関係団体の皆様、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

平成二十四年度に更生保護委託費の見直しがなされ、以降、非常に厳しい施設運営となっておりますが、同時に、これまでの更生保護施設としての在り方はこれで良かったのかと考えさせられる契機となりましたので、役職員一同改革に努め、現在は、東北を始めとする全国の更生保護施設と比べても誇れる成績を挙げるに至っています。

これも一重に、秋田保護観察所様を始めとする更生保護関係団体の御協力・御支援の賜物と、心より感謝を申し上げます。

特に、更生保護女性の会の皆様による心のこもった調理奉仕、多くの地区女性の皆様からの御寄附、秋田地区保護司会様からは、暑い最中のキャピック展のバザー売上の御寄附、そのほか匿名希望の御寄附、物資の御支援等々本当にありがとうございます。

皆様からの御支援・御協力に感謝しながら励みとし、今後も当施設の創設者川村養助翁の遺志を引き継ぎ、更に充実・発展させるため努力いたします。

本年は、当施設創立百十周年に当たります。川村翁の命日八月四日には、秋田市八橋の全良寺において、百十周年記念供養祭を計画しています。後日御案内申し上げますので、更生保護関係団体等の皆様の御参加をお願い申し上げます。

秋田県就労支援事業者機構

平素から、当機構の活動に対し御理解と御支援をいただき、感謝申し上げます。

今年度の事業につきまして、身元保証制度による保護観察対象者等への就労機会の提供は実績が伸びず、昨年度の総件数には届かない見込みです。トライアル雇用を行った事業主への助成につきましても、同雇用を活用した事例がないため、今のところ実績がありませんが、昨年一月に各地区保護司会等の御協力を得て、保護観察対象者等を実際に雇用することについて協力雇用主の意向調査を実施し、それらの情報を保護観察所へ提供していますので、引き続きその積極的な活用に向けて保護観察所と連携を図ってまいります。

また、七月二十九日に秋田保護観察所で実施されました就労支援セミナーに当機構の理事を講師として派遣し、保護観察対象者等の求職活動の援助を行ったほか、広報活動の一環として、例年同様に、当機構が作成したメモ帳の関係者への配布や、

「社会を明るくする運動」及び秋田県更生保護大会の後援を行うなど、着実に事業を進めております。

設立当初から一貫した事業であります協力雇用主の開拓を継続するとともに、より多くの保護観察対象者を就労へと導くため支援してまいりますので、これまでどおり、当機構の活動に対する御理解、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

秋田県更生保護女性連盟

★東北地方更生保護女性会員研修会

九月十七日・十八日、青森県浅虫において、東北地方更生保護女性連盟太田宥子会長のもと、会員研修会が開催されました。秋田県より太田宥子会長始め、会員十名が参加しました。日本更生保護女性連盟狩野安前会長（現在顧問）の「六年間を振り返って」と題しての講話では、「教育・きょう行くところがある。教養きょうようじがある。このように言葉を置きかえて全国の沢山の会員が活動をしている。心強いことだ。」と話されました。研修は、「地域からより頼られる更生保護女性会を目指して」という主題に基づいて、第一分科会では「これからの子育て支援について」、第二分科会では「東日本大震災からの復興に向けた活動について」（記録を秋田地区伊藤妙子会員、協議結果報告を秋田地区石黒かほる

会員が担当）、第三分科会では「更生保護女性会の広報（特に若い世代に向けた情報発信）」について（意見発表を湖東地区新野道会長が担当）、第四分科会では「魅力的な活動の企画と効率的な運営について」熱心に活発な討議が行われました。

また、「地域との連携・協働活動推進地区」の活動報告を、二ツ井地区齊藤正子会長がいたしました。

★更生保護女性会員中央研修

十月二十八日から三十日にかけて、東京アルカディア市ヶ谷私学会館において開催されました。鹿角地区柳田亮子会長、仙北地区佐藤美佐子会長、日本更生保護女性連盟太田宥子常務委員が出席しました。

★秋田県更生保護女性連盟会員研修会

十一月七日、秋田ビューホテルにおいて、県内各地より会員百二十三名参加のもと開催されました。秋田保護観察所杉山勝彦所長、藤原淳哉保護観察官の御出席をいただきました。東北地方更生保護女性会員研修会各分科会の報告、更生保護女性会員中央研修の報告がありました。午後より、畠山久雄様のフルート演奏を堪能しました。会員皆さんがよく知っている曲目「みかんの花咲く丘」に始まり、「シャボン玉」、「川の流れるように」など二十三曲を、ユーモアあふれる解説を交えての楽しい演奏会となり、和やかな中、次への活動へ思いを馳せ、研修会を終了しました。

秋田県BBS連盟

★第六十四回社会を明るくする運動月間

七月一日、秋田駅東西連絡自由通路で秋田地区会が中心となって参加し、社明運動広報資料の配布を行った。

★秋田矯正展

七月六日、秋田刑務所で開催。学生会員が多数参加した。

★第五十五回BBS会員中央研修会

九月二十七日・二十八日、東京の国立オリンピック記念青少年センターで開催され、佐藤与志雄事務局次長が参加した。

★第四十七回秋田県更生保護大会

十一月十九日、秋田市文化会館で開催され、秋田地区会会員七名が秋田保護観察所長感謝状を受彰。また、会長が大会宣言文の読み上げを行った。

★「ハング・ルーズ」青年教室の通年開催

秋田地区BBS会が中心となり、障がいのある青少年と地域行事やレクリエーションなどの余暇活動を楽しむ交流を通年で行っている。十月は明徳地区コミュニティセンターにおいてスポーツ交流会、十一月は同会場においてカレー作りを行い、交流を深めた。

秋田保護観察所

★外部広報への協力について

更生保護に関し社会の理解と協力を得るために、外部広報に積極的に

取り組んでいるところです。

保護局においては、平成二十五年二月から「保護局公式ツイッター」を運営し、広く国民の皆様にも更生保護について御理解頂くための情報発信をしています。

ツイッターを利用することにより、新鮮な情報を瞬時に広く全国のフォロー（登録者）に配信し、情報提供することが可能となります。

特に、各団体から次のような情報を頂き、積極的に発信したいと考えておりますので、御協力をお願いします。

・更生保護関係行事（講演会、研修会、音楽会、演劇会、スポーツ大会等）

・社会を明るくする運動

・更生保護ボランティア

・保護司名言集等

一般の方々も参加いただけるような行事等がありましたら、事後報告のみならず、事前告知も行います。

開催日時、開催場所、出演者、リンク先等に関する記事（百四十文字以内）及び写真等を御提供願います。

御自身のパソコン、携帯電話、スマートフォンで保護局ツイッターを「フォロー」すると、保護局からの情報が自動的に配信されるので便利です。是非御利用ください。

URL http://twitter.com/MOJ_HOGO
アカウント名 MOJ_HOGO



一筆啓上

異色の先覚

―川村養助氏の足跡から―

川村養助氏は、「秋田至仁会」の前身である秋田出獄人保護所を多くの困難を乗り越えて創設した人傑である。ただ、当時、出獄人に対する風当たりが殊の外強く、保護所開設までには相当苦労されたようである。この辺りの状況について、川村養助氏が行った講演を中心に氏の出獄人保護にかける熱い思いを述べてみたいと思う。

川村養助氏は、秋田監獄を明治三十三年五月に満期出獄し、二か月間、東京出獄人保護所で、当時保護事業の第一人者であった原胤昭氏から、出獄人保護の理論と実際について指導を受けて帰省した。驚くことに、九月には、秋田出獄人保護所を創設したのである。そして、十一月には、秋田キリスト教会堂で出獄人保護についての講演を行っている。以下はその一部である。

「全国の犯罪中七〇％は再犯という結果を示し、秋田監獄の場合でも在監人の五〇％は再犯者という実情にある。年間五〇〇円以上を投じる監獄事業の成績がこの結

秋田県保護司会連合会

顧問 目黒 勵

果で、政治上の問題として見過ごすことが出来ない：省略：免囚保護事業は、罪を悔い改め、善人になって出獄した者に協力し、彼らを社会で改心の実を挙げさせることを目的とする：省略」

先ずは、再犯率が高いことを訴え、免囚（出獄人）保護の目的について、現在にも通ずる社会内処遇の必要性を強く訴えている。至極当然であるが、当時は出獄人に対して非常に厳しく、新聞は出獄人を「半禽獣」とであると決めつけ、彼らの感化は並の人では出来ない」と報じている。これでは出獄人の社会復帰が難しく、再犯も多かったと思われる。こんな中で、川村養助氏は、親

族縁者の猛反対にもかかわらず、先祖伝来の財産を売って保護所を創設したのである。ただ、後年の月刊誌によると、氏には官民の支援者が数多くいたとあるの



山本郡三種町森岳 惣三郎公園にて

で、これがまた大きな力となったのであろう。

更に、川村養助氏は、「出獄人を保護する者は、彼らが善良な生活が出来るように、良き相談相手となり、社会に出て戸惑わぬように善導し：職業を斡旋し、大いに励ますことである」と述べている。これは、現在の保護司の使命にも相通ずる。

こうして、前人未踏の保護事業は創設以来二年間で四十三人を保護し、内務省官吏から日本第一の成績と賞賛された。

僅か六年間ではあったが、自己の信念を貫き通し、秋田の地に更生保護の基礎を築いたその功績は誠に大きく、永く永く語り伝えていく必要がある。

サポートセンターだより

▲秋田地区

センター長 柳沢 和子

本年四月に秋田市建設部道路維持課三階の一室に移転してから八か月が過ぎようとしています。例えますと、「光陰矢の如し」と申しましようか、月日の早さを感じながら、保護司活動の支援と犯罪予防活動の推進の拠点として、サポートセンターの機能に応じた役割を果たせるよう、七人の企画調整保護司が協力しながら更生保護事業の任務に当たっています。また、当サポートセンターに、秋田少年鑑別所職員、岩手県東和地区更生保護女性の会、潟上湖東地区保護司会と更生保護女性の会会員、横手地区サポートセンター企画調整保護司が見学に訪れ、交流を通して運営等の情報交換会等を実施しました。

本年度四月から十一月までに、六百五十三名の利用がありました。各種会議・地域処遇会議、他地区会との情報交換会等での活用により、関係団体のネットワークの構築にも貢献してくれています。

▲横手地区

センター長 高橋 勝己

更生保護サポートセンター（以下サポセン）開設後、当地区保護司会各部の活動が活発に行われ、各専門部会、研修会等の開催が増加し、それぞれの参加人数も増えております。

今までは、一堂に会する場所がなく、事務局所在地も固定されていなかったため、保護司相互の交流・意見交換などが十分に行えず、保護司活動に弾みがつきませんでした。サポセン開設によってこれらの問題は解消しつつあります。

当サポセンへ、県内のサポセン開設予定地区や開設済みのサポセンから見学の依頼が多数あり、他地区保護司会とも交流・意見交換ができ、これもサポセン開設のメリットと思っています。

あるサポセンの保護司からは、「横手はキャビネットで部屋を仕切り、出入口も二か所あって二部屋として利用でき、事務、会議、対象者面接と様々な利用ができて羨ましい」との声もありました。

今後の課題としては、他地区サポセンと交流を深め、保護司会活動の充実を図りたいと思います。

▲大館地区

センター長 渡辺三千平

大館地区保護司会では、今年四月一日、関係機関の協力のもと、大館市役所三ノ丸庁舎に、「更生保護サポートセンター」を開設しました。

同センターでは、企画調整保護司九名が平日九時から十五時まで、整備された電話やコピー機等も使いながら交替で事務処理等に当たっています。また、保護観察官の駐在、保護司による対象者の面接、専門部会や研修会、女性保護司の勉強会などにも利用されております。

センターの近くには、石田ローズガーデン、秋田犬会館など大館の観光名所もあります。ぜひお寄り下さい。

▲鹿角地区

センター長 島山 裕

サポセンの窓から見渡す田園風景は、一面の雪野原に変化しています。若葉薫る初夏に開所して半年が過ぎました。負担を強いとは思わせない事務局長宅に山積みされた書類も片付き、運営もようやく軌道に乗ってきたところではあります。

サポセンが開所したことで、対象者との面接や会議をする場所が確保できましたし、保護司相互の交流が促進し、協力態勢も強化され、それが他機関との連携の推進にもつながる等、これまでの活動から一歩踏み出すきっかけにもなっていると感じております。

地域の安全・安心のため、欠くことのできない重要な拠点として再認識した次第です。（執筆者 阿部）

▲本荘地区

「本荘地区更生保護サポートセンター」開設

会長 佐藤 吉寛

十月一日、由利本荘市の御協力を得て、西目保健センターの一室に開設しました。

翌十月二日、開所式典を執り行い、会長挨拶のあと、所長から御挨拶と十四名の企画調整保護司への委嘱状の交付があり、由利本荘市長及びにかほ市長から御祝辞を賜り、更に、

センターの玄関前で記念のテープカットを行いました。誠に華々しい盛大な式典で、参加者一同感激感動致しました。

式典のニュースは、秋田魁新報社と由利本荘市のケーブルテレビで報道され、一般市民の皆さんの話題となりました。

今年の初めから、サポセン開設を組織全体のテーマとして取り上げ、準備してきた成果であり、先ずは開設出来たことを会員各位と喜びを分かち合い、御協力下さった方々に心から御礼を申し上げたいと思います。

これから、更生保護女性の会をはじめ地域の諸団体・諸機関との交流を一層深め、名実ともに地域の更生保護活動の拠点となるよう事務局長をサポートセンター長に任命して運営することにしました。会員各位がそれぞれの立場で工夫し、サポセンが発展するよう協力して下さることを願っております。（センター長 三浦恭二）



栄誉に輝く
叙勲・褒章

秋の叙勲・褒章

(平成26年11月3日)

平成二十六年秋の叙勲及び褒章を受けられました管内の更生保護関係者の方々は、次のとおりです。

永年の御功労・御功績によりめでたく受章されました皆様に心からお祝いを申し上げますとともに、なお一層の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。

(敬称略)

瑞宝双光章

(更生保護功労)



伊藤 容一郎
(潟上湖東地区保護司)

藍綬褒章

(更生保護功績)



皆川 俊治
(湯沢地区保護司)

更生保護以外の功労
藍綬褒章

本間 諭 (本荘地区保護司／自衛隊協力功績)

旭日双光章

中川 一男 (湯沢地区保護司／農業振興功労)

瑞宝双光章

大張 晃志 (秋田地区保護司／警察功労)
成田 征雄 (秋田地区保護司／警察功労)
澤井 邦彦 (大館地区保護司／教育功労)

高齢者叙勲 (瑞宝双光章)

富田 キサ (秋田地区元保護司)
平成27年1月1日付け

保護司の異動

任期満了 (平成26年12月31日)

次の方々が保護司を退任されました。長年の御尽力に対し感謝を申し上げますとともに、今後の御健勝を祈念します。

見上 裕子 (秋田(東))
鎌田 英文 (秋田(東))
佐々木 甚一 (秋田(中央))
高山 信義 (秋田(臨港))
井川 紀子 (秋田(臨港))
田沼 昭男 (男) (潟上湖東)
下田 清子 (潟上湖東)
菅原 金雄 (潟上湖東)
工藤 鶴藏 (能代)
佐藤 友美 (大館)
高坂 久美子 (大館)
高橋 玉子 (北秋田)
三嶋 榮一 (本荘)
小関 公範 (本荘)
沓澤 勇悦 (湯沢)
鎌田 仁左衛門 (大曲)
伊藤 富司 (大曲)

田口 圀治 (角館)

新任 (平成27年1月1日付け)

次の方々が委嘱されました。よろしく願います。今後の御活躍に期待します。

石澤 盛一 (秋田(東))
熊谷 礼子 (秋田(東))
高橋 重美 (秋田(東))
見上 万里子 (秋田(東))
嘉藤 博 (秋田(中央))
佐々木 弘子 (秋田(中央))
菅原 琢哉 (秋田(臨港))
三浦 研二 (秋田(臨港))
山本 春司 (男) (潟上湖東)
奈良 茂一 (潟上湖東)
保坂 美保子 (大館)
奥山 真行 (北秋田)
藤嶋 祐子 (北秋田)
伊藤 泰博 (本荘)
武藤 秀昭 (本荘)
加賀谷 晶子 (横手)
森岡 晶子 (横手)
八河 継美 (湯沢)
伊藤 弘己 (大曲)
佐々木 義実 (大曲)
藤原 一良 (角館)

謹賀新年



秋田保護観察所長 杉山 勝彦
更生保護法人秋田県更生保護援助協合理事長 小畑 悟
更生保護法人秋田至仁会理事長 平澤 健治

死亡叙位

従六位

三浦 昭一 (元秋田地区保護司)
(平成26年10月10日付け 9月15日死亡)
門間 トシ (元潟上湖東地区保護司)
(平成26年11月28日付け 11月2日死亡)

敬弔

故 進藤 力男 (秋田東)

平成26年11月18日 (享年72歳)

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は目まぐるしく変化した年でした。アベノミクスに始まり、株高と円安、景気が良くなっているのか地方ではさっぱり分かりません。自然もめまぐるしく変化し、豪雨に土砂崩れ、好天の日の火山の噴火は大変痛ましい事故となりました。自然災害も多くなっているようです。注意と備えをしっかりとっておきたいと思っています。年末の選挙も加わり皆様落ち着かない一年だったと思われれます。「はやぶさ2」も6年後に夢を乗せて無事宇宙に旅立ちました。私達も新たな気持ちでスタートしました。う。悩んでいる方、病身の方、気持ちの落ち込みがちな方等、いろんな方がいるでしょう。でも新しい年がやってきました。新年を迎えられたことに感謝し、前向きに歩みたいものです。どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。 櫻田

秋田県保護司会連合会会長

宮原 文彌

秋田県更生保護女性連盟会長

太田 有子

NPO法人秋田県就労支援事業者機構会長

小畑 悟

秋田県BBS連盟会長

菅原 大